

「清水八十八カ所巡り」

休校中の清水第一小学校で、1冊の資料を見つけました。清水八十八カ所参拝資料と書かれたもので、作成年月日は平成18年7月1日とありました。資料は、巡拝用具及び心得など、巡拝位置説明書・写真・地図があり、初めての方でも回れる詳しい説明になっていました。「四国八十八カ所巡り」と「村所八十八カ所巡り」がどう違うのか興味がありました。

9月のある日、友人たちを誘い1泊2日のテント泊で清水八十八カ所を回りきる計画を立てました。小学校のグラウンドの隅にテントを張り、資料を手に土居、安望、敷楨、程野とヒガンバナ咲く集落を回り、一度小学校に戻り昼食をとりました。午後から奈藪、日比原そして、その奥の82番を最後にと禅林寺の前の道を西に進み、山道を40分ほど歩きました。資料の説明にある崩れた民家を見つけましたが、目的の82番は分かりません。

雨も降り出し、時間も遅くなったので引き返すことにしました。同行している吾北出身の友人に聞くと、そこにも集落があったそうですが、今はその面影はありません。

この日は1日で20km近く歩いていました。さすがに疲れました。でも、全体の3分の1しか回っていません。2日間で八十八カ所を回りきる計画は到底無理だと分かりました。夕食を学校の玄関先で作りながら、計画の見直しを検討しました。結局、翌日は遍路を取り止め帰ることとし、日帰り、後3回で回り終えることにしました。

1日だけです。回ってみて感じたことは、「四国八十八カ所巡り」は札所参拝巡りですが、「村所八十八カ所巡り」



程野にて撮影

は各集落を巡る参拝でした。聞くとよれば、昔は巡拝者には家々からお接待がなされ、なごやかな会話が響き、お互いの近況を確認し合ったということでした。

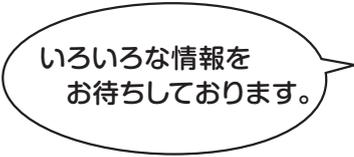
吾北地区には他にも「小川ニ八十八カ所巡り」があり、毎年春に行われていますし、上八川、下八川地区にも巡拝があったように聞きます。

今、四国遍路のお接待文化を世界遺産に登録しようとする動きがあります。地域全体で、お遍路を通じお接待をし、ふれあうことの意味は大きいと思います。後世に残しておきたい遺産ではないでしょうか。

清水八十八カ所巡りが終われば、春には小川ニ八十八カ所を歩いてみたいものです。

問い合わせ・連絡先

社会教育課 町史編さん室(内線31)
☎ 893-2012 ☎ 893-2013



消火器の廃棄方法

消火器の破裂事故にご注意ください

古くなった消火器による事故が全国的に相次いで発生しています。

事故防止のため、腐食や変形などのある消火器は絶対に使用しないでください。

また、廃棄しようとする消火器は、絶対に自分で解体・放射をしないでください。

★不用になった消火器の廃棄方法

- ・回収を行っている事業者へ廃棄処理を依頼してください。(有料になります。)

腐食が進んだ消火器は、容器破裂の危険性が大きいので、速やかに廃棄処理を依頼しましょう。

※消防署では回収しておりません。

- ・廃棄業者については、電話帳の「消防用設備・用品・保守点検」に掲載されている業者を参考にしてください。

★消火器の設置場所にもご注意ください

消火器は風雨にさらされる場所や湿潤な場所を避けて設置し、屋外には放置しないようにしましょう。

その他、不明な点がございましたら、最寄りの消防署にお問い合わせください。

問い合わせ

仁淀消防組合消防署 ☎ 893-3221
吾北分署 ☎ 867-2812

